

[討論会・趣旨説明]

討論会「イノベーション今昔物語」の開催にあたって

九州大学情報基盤研究開発センター
准教授 天野 浩文
amino@cc.kyushu-u.ac.jp

[アブストラクト]

「イノベーション今昔物語」と題した今回の討論会セッションでは、イノベーションとは何かを探る立場、それを創り出そうとする立場、および、その創出を支援する立場におられるパネリストの方々にお集まりいただきます。そして、過去の事例なども紹介いただきながら、今後われわれの社会に起こりうるイノベーションとその効果、その創出を促進し効果を高めるためには何をすればよいのかなどについて、活発な討論を行いたいと思います。

[キーワード]

イノベーション、技術革新、経営革新、事業革新、革新

1. はじめに

国立国語研究所の『「外来語」言い換え提案』^[1]によると、「イノベーション(innovation)」という言葉は25%未満の国民にしか理解されていないそうです。しかし、イノベーションを「経済や産業などの発展につながるような技術や仕組みの革新」と定義すると、その恩恵に預かりたい、あるいは、イノベーションを引き起こす(ことによって利益や名声を得る)側にいたい、と思う人は非常に多いことでしょう。この合同分科会の会場におられる方々で言えば、一般の人々の場合よりもその比率はずっと高いかも知れません。

しかし、イノベーションがそう簡単にひねり出せるようなものでなく、こうすればかなりの確率でイノベーションを生むことができるという秘訣が見あたらないからこそ、それによって得られる利益や名声への渴望がわくのだろうと思います。また、変革することがいつも何かの発展につながるとは限らず、むしろ、イノベーションにはならないまま終わった変革も無数にあるはずです。

とは言うものの、「そこを何とか…」と思うのが人情でありましょう。過去に(あるいは現在も)何らかの形でイノベーションに関わっておられる方々の体験談をお聞きすることができれば、きっとプラスになることがありそうです。「イノベーション今昔物語」というタイトルはそのような想いから生まれました。

2. パネリストの方々

合同分科会の企画会議では、以下の4つのサブテーマで話題提供をいただけそうな方々を探してパネリストをお願いしよう、ということになりました。

- イノベーションとは何ぞや
→イノベーションそのものの研究をされている方
- イノベーションの卵(技術革新)
→技術でイノベーションを創出されている方
- イノベーションの卵(ビジネススキーム)
→ビジネススキームでイノベーションを創出されている方
- イノベーションの種まき
→イノベーション創出のためのバックアップをされている方

企画会議からのこのようなお願いを聞き入れて今回のパネリストをお引き受けくださったのは、以下の皆

様(順不同)です。また、パネリスト各位にお集まりいただき打ち合わせをした際に、私の用意する趣旨説明の中で 4 つのサブテーマに言及する際は「イノベーションの○(○は漢字一文字)」に統一させていただくことになりました*。

- ・「イノベーションの理(ことわり)」
明治大学 法学部 阪井 和男 様
- ・「イノベーションの技」
富士通 モバイルフォン事業本部 新山 学 様
- ・「イノベーションの翼」
東日本旅客鉄道 IT・Suica 事業本部 椎橋 章夫 様
- ・「イノベーションの種」
立命館大学 研究部 野口 義文 様

お忙しいところ快くお引き受けくださったパネリストの皆様、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

3. おわりに

この討論会セッションでは、今ではあれがイノベーションであったと認識されている革新がどのような人々によって引き起こされ、彼らはどうしてそのような着想を得たのか、新たなイノベーションを生む・タネとなるアイデアを成長させるためにできることは何か、あるいは、発展につながると期待して始めた変革がイノベーションに至らなかったのはなぜか、われわれはそこから何を学ぶことができるのか、といったことについて、情報交換や討論を行いたいと思います。

討論会の会場にて、壇上におられるパネリストの方々とフロアにおられる参加者の方々の間で、活発な質疑・討論が行われることを期待しております。

参照サイト:

- [1] 国立国語学研究所「外来語」委員会:『「外来語」言い換え提案 第1回～第4回 総集編 ― 分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫 ―』,
http://www.kokken.go.jp/gairaigo/Teian1_4/index.html, 平成 18 年 3 月.

* それぞれの話題提供のタイトルは自由に設定いただくことにしています。